

保護犬猫をアバターとして飼い、保護活動に貢献できるサービス

目 概要

保護犬猫をアバターとして飼い、保護活動に貢献できるサービス

【背景】

近年、動物の殺処分が問題になっています。

殺処分数は年々減少していますが、その背景には、保護団体の保護数超過や金銭的負担が大きくなっています。

実際、保護団体にヒアリングしたところ、①保護数は増えるが、金銭的限界があるため、自費で保護活動をしなればいけないという現状があります

一方、保護活動の一環として保護犬猫を飼いたい人にも課題があります。

保護犬猫を飼うには、様々な条件があり、①住居②年齢③アレルギー④外出多い、という理由で条件に合わず、保護犬猫を飼えない人が多くいます。

そんな保護団体、保護犬猫を飼いたい人どちらもハッピーになるようなアイデアです、

このアイデアで、社会問題を解決するとともに、いままでお金が流れていなかった領域に新しいお金の道を作り、日本経済の活性化に貢献します

解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

ターゲット

1. 保護活動の一環として、保護犬猫を飼いたい人が①住居②年齢③アレルギー④外出多い、という理由で条件に合わず、保護犬猫を飼えない人
2. 保護数だけが增えるが、金銭的に自費で負担しなければいけない保護団体

課題：

1. 保護犬猫を飼いたい人が①住居②年齢③アレルギー④外出多い、という理由で条件に合わず、保護犬猫を飼えない
2. 保護数だけが增えて、金銭的に余裕がない。かといって、日ごろの業務で忙しいため、譲渡会を積極的に実施できない

解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

保護犬猫をアバターとしてオンライン上で飼い、保護活動に貢献できるサービス

類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

犬猫を育てるアプリゲーム

- ・ 娯楽性に特化しており、直接的な保護活動にはなっていない

<https://apps.apple.com/jp/app/with-my-dog-%E7%8A%AC%E3%81%A8%E3%81%8F%E3%82%89%E3%81%9D%E3%81%86/id1538094037>

有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

保護活動をしたい人にとっての既存のサービス

- ①猫カフェ、犬カフェ
- ②ペット動画
- ③友人宅で触れ合う
- ④近所の犬猫をめぐる
- ⑤寄付活動

→どの既存サービスでも、保護活動に直接貢献できていない感覚&犬猫を世話している実感の二つが両立していない

優位性：

犬猫を飼えない人でも、保護活動に貢献する実感&犬猫を世話している実感を味わうことができる

保護団体：

金銭の寄付（公募制の寄付も含む）

物資の寄付

市からの補助金（一部団体）

→現状、それでも資金はたりない。

新たな収入源として実現



実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

サービス内容

- ・保護犬猫から支援する犬猫を決めて、アプリ上でアバターとして飼える
- ・アプリ上でアバターに世話をする（散歩や餌選び等）
- ・希望があれば定期的に支援している犬猫に会いに行ける
- ・実際の犬猫の健康状態、好き嫌いがアバターに反映される

サービス利用フロー

- ・アプリダウンロード
- ・支援したい犬猫を選ぶ
- ・アバター上で世話
- ・アバターに着せる服やおもちゃを選ぶ（課金）
- ・アバターに与えた餌等を、実際に保護犬猫が食べてる動画等も贈られる
- ・月1程度で犬猫の体調状態が送られてくる（アバターにも体調が反映）
- ・希望があれば定期的に会いに行ける（予約、定期予約）



課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

障壁：

- ・アバターでも飼っている感覚を持ってもらう

克服：

- ・「ペットロボットと暮らす人が今後増えると思う」約6割、ペットを飼いたい人が飼えない人に絞ると約7割に。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000320.000025121.html>

→ペットロボットと暮らす生活も受け入れられつつある。

- ・アバター上と現実の保護犬猫の連動をリアルタイムに近づけることで、実際に生きている実感を持ってもらう。
- ・アバターの裏には実際に保護犬猫がいることで保護活動に貢献できると実感してもらう（希望すれば直接会うこともできる）



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

コスト

- ・開発コスト：1億円

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kawamuraimeikou/20220428-00293340>

期間：1年

開発期間：1年

リリース：2年目～（定期メンテ）



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

犬猫の保護活動に参加できない人でもアプリ上で犬猫を飼うことで貢献して、動物とヒトが共生できる世界の実現に貢献します！